

よくあるご質問

I.再エネ等由来水素を活用した自立・分散型エネルギーシステム構築事業 『機器支援』

	質問	回答
応募申請について	1 複数年度に渡る事業計画で応募することは可能ですか？可能な場合補助金上限額は2か年度合計でしょうか。年度毎でしょうか。	可能です。 詳細は公募要領をご覧ください。 複数年度の場合の補助金上限額は2か年度合計で製造・貯蔵・供給分野は2億円、利用分野は1億円となります。
	2 製造・貯蔵・供給分野、利用分野、両分野を対象として応募する場合の上限額はどのようになりますか？	上限はそれぞれの分野での設定になりますので、最大3億円となります。
補助対象経費について	3 水素発電機や水素ボイラーを単独で申請することは可能ですでしょうか。	各設備を単独で申請することができます。 導入する設備機器が申請されたシステムの一つとして機能する設備機器であれば補助対象となりますが、これらの設備が申請されたシステム以外にも利用される計画の場合は補助対象外となります。
	4 公募要領の補助対象設備となっている水電解装置、バッファタンク、水素充填ユニット、水素吸蔵合金のうち複数の申請は可能ですか。可能な場合、それぞれ申請が必要でしょうか。	同一のサプライチェーンを構築するものであれば複数の設備でも申請が可能です。またその際の申請書は同じもので構いません。
	5 改質器付き燃料電池は補助の対象となりますか。	改質器付き燃料電池は補助対象外です。
	6 ボイラーの蒸気量の増加を目的として設備の入れ替え（水素ボイラー）を考えています。このような設備の更新は補助対象となるでしょうか。	補助対象となります。
	7 既設のものはボイラーではなく、蒸気を購入していますが、水素ボイラーの導入申請は可能ですでしょうか。	申請可能です。
	8 「水素ボイラー」の新設・増設は補助対象となりますか。	新設、増設ともに補助対象になります。
	9 対象事業の要件として、「将来的に再エネ由来等水素への移行の見込みがある場合は、副生水素も対象とする。」と記載がありますが、「将来的に」とは、具体的な移行期間はあるでしょうか。	具体的な移行期間の決まりはございませんが、現状、御社でお考えの見込みを申請書中にお示しください。
	10 水素ボイラーの応募を検討しておりますが、付随する水素タンクやボイラー用軟水器は補助対象となりますか。	設置状況などにもよりますのでご相談ください。
	11 事業の実行可能性、採算性などの事業化可能性調査（FS調査）は補助対象となりますか。	FS調査や計画策定等における費用は対象外となります。
	12 利用分野では「一般的な設備との差額」とありますが、「一般的な設備」とはどのようなものになりますか？	当事業で導入される水素利用設備・機器と同等の能力を持った、他エネルギーを利用する設備・機器のことを言います。補助金額の算出に必要なことから「一般的な設備」の見積書の取得も必要となります。 また、CO2削減計算にも利用されますので併せて仕様書もご用意ください。
	その他留意事項	13 補助事業完了後、二酸化炭素削減効果等について、事業報告書を大臣に提出、とありますが専焼水素ボイラーの場合、化石燃料から水素利用になるので、CO2はゼロになると思いますが、それでも報告は必要でしょうか。
14 既設機器の残置は可能ですでしょうか。		可能ですが、申請の際に残置理由をお示しください。
15 設備で発電された電力は売電できますか。		売電はできません。自家消費となります。